

令和2年度 第3回学校運営協議会 定時制部会 要旨

日付 令和3年2月19日(金) 書面開催

学校運営協議会委員(順不同 敬称略)

味岡 知行	(味岡刃物製作所 代表 伝統工芸士)
奥野 浩史	(奥野晴明堂 代表取締役社長 伝統工芸士)
丸井 理恵	(堺市立旭中学校 校長)
立唐 直美	(後援会 実行委員 代表)
中野 泰三	(大阪大谷大学 入試広報課 参事)
山本 達也	(一般財団法人 堺市人権協会 常務理事)

1 准校長挨拶

平田 准校長

2 令和2年度 学校評価について(審議)

- ・教員が生徒に対して教え方に工夫して居られることに敬意を表します。
- ・半数以上の生徒が学校に行くのが楽しいと思っていることは素晴らしいと思います。
- ・いじめについては、子どもたちは親には言いにくいナイーブな事もあると思うので、先生方には特に気にかけていただきたいと思います。
- ・コロナ禍により、教育活動の推進に大きな支障が生じたにもかかわらず、遅刻総数の減少及び、最小限の退学者数に抑えられた努力に敬意を表します。
- ・遅刻総数が前年度に比べ1,372件の減少というのは、生徒や家庭との連携がうまく取ることができた結果だと思う。遅刻は、社会人として時間をきちんと守るといった基本的なことができないと判断され、信用を失う行為だということを、学校や家庭の双方から生徒に伝えていただきたい。次年度も、生徒や家庭との連携をより一層深め、今年度以上の減少をめざして頑張ってください。 等

令和3年度 学校経営計画について(審議)

- ・学校と保護者との信頼関係が生徒に安心を増すと思います。
- ・3年度は学校行事が例年通り少しでも実現出来たらよいなと思います。
- ・専門性があることは、この時代には強みだと思う。目指す学校像については、特に力を入れていただくことで学校の魅力が増すと思う。
- ・令和2年の学校の自己評価をふまえた学校経営計画と学校評価となっており、一つ一つの目標の達成ができるように頑張ってください。そのためにも、先生方だけの日々の努力だけではなく、校外の関係機関等とのネットワークを活用し、これまで以上に達成できるように頑張ってください。
- ・GIGAスクール導入に積極的に取り組み、状況に応じて、充実したオンライン授業を実施できる体制を構築してもらいたい。 等

※ 学校評価と学校経営計画について委員全員が了承。

### 3 学校教育自己診断について

- ・アンケートによる信頼割合が増していることは良いことだと思います。
- ・保護者の方が生徒指導方針に共感できると回答した方が前年度を上回ったことは素晴らしい結果でした。
- ・先生方の教育に対する意識の高さと方向性の一致がわかる自己診断結果で今後もこの数字がアップすることで「学校力」の向上が期待できると思う。
- ・従来と同内容の設問で実施し、評価内容の変化を検証され、教育活動に反映していってほしい。
- ・保護者・生徒・教員向けにアンケート形式でさまざまなデータを収集し、隠れた課題の発見や今後の改善点に繋がっていると思います。今後は、設問内容を新たに検討し、さまざまなデータを収集し、それを活用した学校経営にしてほしいと思います。 等

### 4 今年度の取り組みについて

- ・生徒に自信を感じさせてあげるのには工夫が必要なのではないのでしょうか。学校生徒、保護者、地域住民との信頼関係の増大を希望します。
- ・参加型、対話型中心の授業をして頂くことで、目で見ただけでは理解できない事や楽しさが分かると思います。又、生徒自身でも分からない才能や興味が見つかるそれが就職や進学にも繋がると思うので良い取り組みだと思います。
- ・防災甲子園優秀賞などの結果を積極的にアピールしモチベーションをあげ、更に素晴らしい学校を作ってください。
- ・コロナ禍の影響により、資格試験にチャレンジした生徒数が減少したりしましたが、教職員の皆様の努力により、最低限の影響に留めていただいたと思います。健康管理に努めて、生徒たちのために、さらに頑張ってくださいと思います。
- ・新型コロナウイルスによるさまざまな影響で、イレギュラーな学校経営をしなければいけないという事態になった今年度をふまえたうえで、これまでとは違うやり方等を検討して頑張ってください。 等

以上